

月	単元名 (教材名) (配当時数)	学習活動・内容	評価の主な観点			評価の観点基準	評価のための判断基準
			主体的に学習する態度	思考・表現	知識・技能		
4月	5章 データの活用 (6時間) (1) データの整理 (2) データの代表値 (3) データの散らばりと四分位範囲	・度数分布とヒストグラム、相対度数、累積度数の意味や求め方 ・代表値の意味と求め方 ・範囲、四分位数や四分位範囲、箱ひげ図の意味や求め方	○	◎	○	・度数分布とヒストグラム、相対度数、累積度数の意味が理解でき、求めることができる ・代表値の意味が理解でき、求めることができる ・範囲、四分位数や四分位範囲、箱ひげ図の意味が理解でき、求めることができる	・ノートの提出 ・授業の反応 ・単元テスト ・1学期中間考査
	1章 図形と相似 (6時間) (1) 相似な図形 (2) 三角形の相似条件	・相似な図形の性質を理解する ・三角形の相似条件を理解する	○	◎	○	・図形の拡大・縮小の意味や相似な図形の性質に関心を持ち、積極的に図形の考察に活用しようとした ・三角形の相似条件を使って、図形の性質を調べることができる	
5月	6章 確率と標本調査 (6時間) (1) 場合の数 (2) 事柄の起こりやすさと確率 (3) 確率の計算 (4) 標本調査	・場合の数を、樹形図や表を用いて求める。 ・確率の意味 ・確率の求め方 ・樹形図や表を用いて、確率を求める。 ・標本調の意味や求め方	○	◎	○	・樹形図や表を用いて場合の数を求めることができる ・確率に関心を持ち確率の求め方を考えようとする ・確率の値の意味が理解できる ・数理的な確率の問題を求めることができる ・標本調の意味を理解し、求めることができる	・授業の反応 ・ノートの提出 ・1学期期末考査 ・単元テスト
	(3) 平行線と線分の比 (6時間) (4) 中点連結定理 (5) 相似な図形の面積比、体積比	・平行線と線分の比の関係などを調べたり、相似な図形の性質を測量などに生かす ・三角形の中点連結定理を、図形の論証に生かす ・縮図を利用して、距離や高さを求める	○	◎	○	・相似比を求めることができる ・三角形の相似条件がわかる	
6月	1章 式の計算 (8時間) (1) 多項式の計算 ①単項式と多項式の乗法・除法 ②多項式の乗法 ③式の展開 ④展開の公式の一般化	・(単項式)×(多項式)、(多項式)÷(単項式)の計算をする。 ・多項式どうしの乗法の計算をする。 ・乗法公式を理解し、それを用いて式の展開をする。	○	◎	○	・多項式と単項式の乗法・除法や多項式の積の形の式を展開する方法を、すすんで確かめようとする。 ・他の文字に置きかえて、多項式の積の式を展開する方法を考えることができる。 ・乗法公式を使って、多項式の積の形の式を展開することができる。	・授業の反応 ・ノートの提出 ・1学期期末考査 ・単元テスト
	2章 線分の比と計量 (8時間) (1) 三角形の重心 (2) 線分の比と面積比	・三角形の重心やチェバ、メネラウスの定理およびその定理の逆について理解し、証明問題に活用する。	○	◎	○	・三角形の重心やチェバ、メネラウスの定理を証明できる。 ・三角形の重心やチェバ、メネラウスの定理を利用し証明することができる。	
7月	(2) 式の計算の利用 (6時間) ①因数分解 ②公式を利用した因数分解 (3) 式の計算の利用 ①工夫して行う数の計算	・多項式の因数、因数分解の意味の理解 ・公式を使って因数分解する。 ・数や式の計算、整数の性質の証明などに、乗法公式や因数分解を利用する。	○	◎	○	・1つの自然数をいくつかの自然数の積と見ることができる。 ・乗法公式を使って、因数分解することができる。 ・因数分解の意味と方法がわかる。 ・数や式の計算、整数の性質の証明などに、乗法公式や因数分解を利用する。	・チェバ、メネラウスの定理を証明できる。 ・チェバ、メネラウスの定理を利用し証明することができる。
	(3) チェバの定理 (6時間) (4) メネラウスの定理	・チェバ、メネラウスの定理およびその定理の逆について理解し、証明問題に活用する。	○	◎	○		

9月	2章 平方根 (8時間) (1) 平方根 ①平方根 ②平方根の大小関係 ③平方根の近似値 (2) 根号を含む式の計算 ①平方根の乗法と除法 ②分母の有理化 ③平方根の和と差 ④いろいろな計算・問題	<ul style="list-style-type: none"> 平方根の意味とその表し方の理解 平方根の大小の判断 平方根を近似値で表す 根号のついた数の乗除の性質の理解 分母を有理化する意味と方法。 根号のついた数の加法・減法の計算のしかたの理解 根号のついた式の四則計算ができる。 	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 平方根に関心をもち、これまでの数の概念を拡げ深めようとする。 平方根を、根号を使って表すことができる。 平方根の大小関係がわかる。 平方根の近似値を、けた数を増やしながらかける方法がわかる。 根号のついた式の乗除の計算ができる。 意味を理解して分母の有理化ができる 加法・減法ができる。・四則の混じった式の計算ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 2学期中間考査 ノートの提出 授業の反応 単元テスト
	3章 円 (8時間) (1) 外心と垂心 (2) 円周角	<ul style="list-style-type: none"> 外心と垂心について理解する 円周角の意味とその定理 円周角の定理を活用して角の大きさを求める 	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 円周角の性質について関心をもち 円周角の定理を用いて角の大きさを求めることができる 円周角の定理がわかる 	
10月	(3) 有理数と無理数 (6時間) ①有理数と無理数 (4) 近似値と有効数字	<ul style="list-style-type: none"> 有限小数、無限小数、循環小数の意味の理解 有理数と無理数の理解 	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 有限小数、無限小数、循環小数の意味が理解できる 有理数と無理数の分類ができる 	
	(3) 円に内接する四角形 (6時間) (4) 円の接線	<ul style="list-style-type: none"> 円に内接する四角形について理解し、それを活用して角の大きさを求める。 円の接線について理解し、内接円・内心、傍心を論証に生かす。 	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 外心、垂心などを理解し、その位置を求めることができる 円に内接する四角形の性質を理解し、角度を求めることができる 	
11月	3章 2次方程式 (8時間) (1) 2次方程式の解き方 ①2次方程式 ②因数分解による解き方 ③解の公式 ④方程式と解	<ul style="list-style-type: none"> 2次方程式とその解の意味を理解する。 因数分解を利用して2次方程式を解く 解の公式を用いて2次方程式を解く 	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 2次方程式の解の意味・求め方を調べようとする。 因数分解を利用して、2次方程式を解くことができる。 解の公式を利用して2次方程式の解を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2学期期末考査 ノートの提出 授業の反応 単元テスト
	(5) 接線と弦のつくる角 (8時間) (6) 方べきの定理	<ul style="list-style-type: none"> 円の接線について理解し、内接円・内心、傍心を論証に生かす。 共通接線の性質を理解する。 	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 円に内接する四角形の性質を理解し、角度を求めることができる 相似な図形や特徴ある性質を発見し、課題解決に取り組むことができる。 	
12月	(2) 2次方程式の応用 (6時間) ①数の問題 ②面積の問題	<ul style="list-style-type: none"> 文章題を2次方程式を使って解く。 関数や図形の問題を2次方程式を使って解く。 	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 文章や条件を読み取り、式を作ることができる。 方程式の解から、問題の条件にあった数値を求めることができる。 	
	(7) 2つの円 (6時間)	<ul style="list-style-type: none"> 2つの円の位置関係を理解する。 共通接線の性質を理解する。 	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 2つの円の位置関係などから、既習の定理などを用いて問題を解決しようとする。 	
1月	4章 関数 $y=ax^2$ (6時間) (1) 関数 $y=ax^2$ (2) 関数 $y=ax^2$ のグラフ	<ul style="list-style-type: none"> 2乗に比例する関数の意味を理解する。 関数 $y=ax^2$ のグラフをかき、その特徴について理解する。 	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 2乗に比例する関数の意味を理解することができる。 関数 $y=ax^2$ のグラフをかきことができる。 関数 $y=ax^2$ の特徴について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ノートの提出 授業の反応 3学期学年末考査 単元テスト
	4章 三平方の定理 (6時間) (1) 三平方の定理	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理について理解する 三平方の定理を活用して線分の長さを求める 	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理について理解することができる。 三平方の定理を用いて線分の長さを求めることができる 	

2月	(3) 関数 $y=ax^2$ の値の変化 (6時間) (4) 関数 $y=ax^2$ の利用	<ul style="list-style-type: none"> 関数$y=ax^2$の値の変化について理解する。 関数$y=ax^2$の変化の割合について理解する。 放物線と座標や直線について理解する。 	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 関数$y=ax^2$の値の変化について理解することができる。 関数$y=ax^2$の変化の割合について理解することができる。 放物線と座標や直線について理解することができる。
	(2) 三平方の定理と平面図形 (6時間)	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理を用いて、対角線の長さや三角形の面積、座標平面上の2点間の距離を求める 	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理を用いて平面図形の問題を解くことができる
3月	(5) いろいろな関数 (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> 関数$y=ax+b$, $y=ax^2$とは異なる形の関数について理解する。 	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 関数$y=ax+b$, $y=ax^2$とは異なる形の関数について理解することができる。
	(3) 三平方の定理と空間図形 (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理を活用して直方体の対角線や最短距離を求める 	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理を用いて空間図形の問題を解くことができる